

# 各会派による政務調査報告

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で、他の自治体の取り組みを視察調査したり、また、様々な研修を行うなど研鑽に努めています。

## 地域産業の活性化と都市型農業の創造に寄与する

視察地 羽生市農林公園  
「キヤッセ羽生」  
の有機野菜や伝統工芸品、特産品の販売。

視察日 7月14日  
地ビール工房 麦芽100パーセントの手工芸的に造られたビール。

施設概要  
バーベキュー広場、子供遊具など

体験農園 季節に応じた野菜の収穫体験。  
訪れる場合は連絡した方がよい。

体験棟 伝統工芸、いがまんじゅう、うどんなどの体験教室を開催。

むじな庵 自慢のモロヘイヤうどんをメインとした食事処。

むじなも市場 地元農家が水田、農業経営の中心は、水稲単作「水稲と施設園芸」「水稲と畜産」。

048(565)5255  
耕地の約90パーセントが水田、農業経営の中心は、水稲単作「水稲と施設園芸」「水稲と畜産」。

048(565)5255  
水稲の約90パーセントが水田、農業経営の中心は、水稲単作「水稲と施設園芸」「水稲と畜産」。

水田利用の将来方向  
水稲の輝き」を中心に麦、大豆

飼料用米の拡大定着の推進、産地消の推進、特色ある農産物栽培（モロヘイヤ、ウコン

など）、特別栽培米の取組みと作付面

キヤッセ羽生



キヤッセ羽生

キヤッセ羽生  
を中心に麦、大豆飼料用米の拡大定着の推進、産地消の推進、特色ある農産物栽培（モロヘイヤ、ウコンなど）、特別栽培米の取組みと作付面

## 自主自立の町への取り組み



三春町役場前にて

積の拡大の推進。  
・担い手の明確化  
認定農業者  
水田規模面積3ha以上。  
認定農業者になる予定

の者。  
・産地確立交付金  
農業の構造改革推進のため、担い手の営農意欲の高揚に向け集中して支

援する。などの説明を受けた。  
担当職員3名の積極性が印象的であった。

この経過が大変興味深いもので、平成14年1月に市町村合併に関する論点整理資料の作成から始まり同年12月1日まで合計11回の合併問題調査特別委員会の開催。各地区毎19回の懇談会の開催。8回の検討資料の発行。地域懇談会の中で「合併しないでやっていけるなら合併しない」というのが町人の圧倒的多数である事を確認したそうである。

その結果、周囲の田村郡内6町村は合併した。「小さくともキラリと光る町」を目指したこの町は平成17年10月厳しい財政状況の中で、公共サービスを町だけで担っていくには限界があるとして住民の手によって自治推進の原動力として町民自治基本条例を制定した。

視察地 福島県三春町  
視察日 8月19日  
会派 新政21、みらい研伊奈、第一民主自由党

三春町は福島県郡山市から常磐東線で約12分、日本を代表する「三春滝桜」で有名な所で、自由民権運動の発祥の地としても多く知られている町である。

合併問題では町、議会、町民の3者の総意として「当面合併はしない」とし独自の町造りを貫いた。

三春町は福島県郡山市から常磐東線で約12分、日本を代表する「三春滝桜」で有名な所で、自由民権運動の発祥の地としても多く知られている町である。

合併問題では町、議会、町民の3者の総意として「当面合併はしない」とし独自の町造りを貫いた。

その結果、周囲の田村郡内6町村は合併した。「小さくともキラリと光る町」を目指したこの町は平成17年10月厳しい財政状況の中で、公共サービスを町だけで担っていくには限界があるとして住民の手によって自治推進の原動力として町民自治基本条例を制定した。